

3. 2025年度“井戸端SAIPE”と“懇親会”

SAIPEは2012～2016年度の文部科学省による助成期間後も事業を継続し、新たな取り組みにも挑戦し続けています。しかし、メンバーの変動があったものの、オンラインでの会議が続き、「お互いをよく知ることができない。」「聞きたいことを聞けない、疑問があっても確認しにくい。」といったことが、口々に語られることがありました。そこで、対面で集まり、**お互いを知ったり、これまでに疑問に思っていたことや感じていたことを気楽に伝え合ったりする機会**として、「井戸端SAIPE」が企画されました。

日 時：2025年8月7日（木） 18：00～19：30

会 場：埼玉県立大学 北棟 看護実習室102

参加者：24名（県立大学9名、埼玉医大4名、城西大6名、日工大3名、埼玉県2名）

企画・運営：勝木（日工大）・米岡（埼玉医大）※企画検討・準備には他のメンバーも協力。

実施内容：○はじめに（OARRの共有 / SAIPEの概要）

○自己紹介（グループごとに「私の取扱説明書」を作成して共有。）

○SAIPEについての気軽な意見交換

以下のA～Eのトピックについて、各テーブルで意見交換を行いました。

A：知りたい・疑問に思っていた事 B：運営会議を盛り上げたい C：SAIPEこれからどうなる？

D：SAIPEこれからどうしたい？ E：SAIPEを知りたい疑問に思うこと

1人を残して席替えを繰り返す「ワールド・カフェ」形式で行われたため、各テーブルでどのようなことが語られたか、大まかな内容が自然と全体に共有されました。

当日の様子と成果

当日は会が始まる前から各テーブルで**会話に花が咲き、自己紹介を経て、意見交換も和やかな雰囲気のまま進められました。**その中で〈SAIPEのめざすところがよく把握できていない〉〈同じ景色を見ているかわからない〉、運営連絡会議は〈ルーチン的な取り組みについて話す場か？〉〈一部の人しか発言していない印象〉〈過去の経緯がわからないので発言もためらう〉など、**率直な思いが表出されました。**



SAIPEの概要



自己紹介



各テーブルの様子①



各テーブルの様子②



席替え



発表（各テーブルでの話しについて）

これまでの経緯や目的についての共有が不十分であること、多くのメンバーが疑問や不安を抱えていることなど、重大な課題が浮かび上がりました。このような機会だからこそ、また、和やかな雰囲気だからこそ、率直な思いを表出し合えたのだと思われます。その意味で、「井戸端SAIPE」は、**主旨通りの有意義な会になったと言えるかも知れません。**しかし、見出された課題は看過できません。得られた率直な意見や気づきを今後の運営に生かし、**メンバーが目的や方向性を共有できている状態で、安心して取り組めるSAIPEにしていくことが、次のステップとして期待されている**と言えるでしょう。